

令和4年7月9日（土）、3年ぶりの高知県支部総会が高知県歯科医師会館会議室で開催されました。コロナウイルス感染収束の兆しが見えない中、いろんなケースを考え会場を歯科医師会館とし、1テーブルに1人が着座、密にならないよう間隔をあけマスク着用で行われました。

司会進行は土本祐輔先生（大48）が務められ、高知県支部会長福島善彦先生（大19）の挨拶の後、同窓会会長生駒等先生（大16）、学長代理としてご出席の歯科麻酔学主任教授百田義弘先生（大36）からご挨拶をいただきました。続いて同窓会専務理事恩田信雄先生（大21）から同窓会報告をいただき、100周年記念大会（8月20日）の準備状況の説明の中で、本大会にご出席される先生方は100周年の記念ピンバッジとネームカード（7月下旬送付予定）を必ず持参するようとの説明がありました。百田先生からは学内人事や国家試験結果等の学内報告をしていただきました。有田憲司先生（大28）からは昨年3月に大学を定年退職され4月に名誉教授とられた現状のご報告をしていただきました。

続いて議事へと進行していきました。議長には前田芳久先生（大20）が選出され、物故会員への黙禱の後、役員よる会務報告、監査報告、議事では令和3年度収支決算の承認を求める件、令和4年度予算案に関する件が可決承認され、役員改選に関する件では令和4年度までは現会長福島善彦先生が務められ、任期途中の交代となりますが、令和5年度からは前田芳久先生が新会長に就任される事が決まりました。

総会終了後、岡崎圭助先生（大41）による保険講習会が行われ、主に保険改定の注意点についての説明がありました。

場所を「得月楼」に移しての懇親会は記念撮影後、堅田和寿先生（大48）の司会で開会し、福島会長の挨拶の後、生駒会長、百田先生からご挨拶をいただき、有田先生には教授退任のお祝いに記念品贈呈が行われ、森田章介名誉教授（大24）の乾杯のご発声で宴が始まりました。作家の宮尾登美子さん原作の小説「陽気楼」のモデルとなった料亭での懇親会も瞬く間に楽しい時間が過ぎ前田先生の閉会の挨拶をもって無事盛会のうちに終えることになりました。